

## 284 大貝獣物語 その1 : オブニング sage 2005/08/06(土) 05:19:18 ID:d48MtN15

大貝獣物語の舞台となるのは、我々の住む地球とは異なるシェルドラドという世界です。この世界には人間の他、背中に貝殻をもつ不思議な生き物「貝獣」をはじめとするさまざまな種族が共存しています。

かつて、シェルドラドでは「大魔王ファットバジャー」という強大な魔物が現れ、世界全体が闇と恐怖のどん底にたたき落されそうになったことがありました。その時には異世界からやってきた火の貝の勇者と勇気ある貝獣たちが協力し、冒険の末ファットバジャーを打ち破り封印することに成功しました。これが前作「貝獣物語」のお話です。

かくてシェルドラドには再び平和な時代が訪れたのですが、最近になって封印された大魔王ファットバジャーが復活の兆しを見せていることがわかりました。貝獣たちの長・貝獣仙人はこの事態を重く見て、前の時と同じように、異世界から火の貝の勇者を召喚してファットバジャーを再び打ち破ろうとしました。

貝獣仙人らの召喚の儀式によって呼び出された地球人の少年　シェルドラドの住人は我々の住む地球を異世界と呼んでいるようです　が、今回のお話の主人公となる火の貝の勇者です。

貝獣仙人はさっそく火の貝の勇者にシェルドラド様式の服装と武装をさせると、大魔王を封じ込めるためのオーラの玉、大魔王の魔力を抑えるための火の貝・水の貝・大気の貝・大地の貝の4つの貝を与え、前回でも活躍した貝獣の3人組、バブ・クピクピ・ポヨンをお供につけて、さあゆくがよいと船に乗せて送り出しました。

...有無を言わず別世界に連れてこられてお前は勇者だ魔王を倒してこいと言われ、小船ひとつで海のまただ中に放り出された主人公の少年の心中は察するに余りあるものがあるのですが、なおも災難は続きます。一行は南の海に浮かぶ貝獣島からファットバジャーが封印されているドラドシティーに向けて大海原を北上していたのですが、ろくすっぽ進みもしないうちに嵐に遭遇、船は木の葉のごとくに翻弄され、勇者たちは海に投げ出されてしまうのでした。

## 285 大貝獣物語 その2 : チクリー~サンドサイド sage 2005/08/06(土) 05:23:58 ID:d48MtN15

火の貝の勇者が目覚めたのは、シェルドラドの北西の大陸のはずれにあるチクリーの村でした。介抱してくれていた村人の話によるとずいぶん長い間意識がもどらなかつたようです。ふと気付くと一緒にいた貝獣もいませんし、持ち物も勇者が身につけていた火の貝をのぞいて全てなくなっています。村人にきいてみてもそんなものは最初からなかったと言うので、嵐に巻き込まれた時に離ればなれになったり紛失したりしてしまったのでしょう。そしてがっくり気落ちする暇もなくここでも非常事態が発生します。突然空からロボットのようなものが何体も降ってきて村を攻撃しはじめたのです。彼らはそれを防ぎに出た村人を軽くひねると、マユのようなものに包んで連れ去ってしまいます。

ロボットのようなものが去った後、火の貝の勇者は村人のすすめに従ってチクリーの村を後にしました。目的地はこの地方の中心的な町、サンドサイドです。この町でなら旅の支度もできるし、何か有力な情報が得られるかもしれません。

サンドサイドの町でいろいろ聞き込みを行った結果、思わしくない話が耳に入りました。出発してすぐになくしてしまったオーラの玉は、いま現在奴隷商人のドグラという人物の手元にあり、しかも彼はそれを使ってファットバジャーの復活を企んでいるらしいのです。サンドサイドではドグラの配下をふん捕まえて尋問を行おうとしていましたが、そいつは口封じのために殺されてしまいます。しかし、一味の活動の

範囲から、ドグラの拠点はサンドサイドから南東の方角にある砂漠地帯にあると見当がついています。それからいい話もあって、サンドサイドの首長がドグラ討伐のために世界各地から募った有志を火の貝の勇者に同行させてくれるというのです。そしてその中には嵐で離ればなれになってしまっていたバブもいました。しかし、クピクピ・ポヨンの行方についてはバブも知らないようです。以降、サンドサイドの「勇者の館」で、最大4人までのパーティーを自由に編成することができます。

#### 286 大貝獣物語 その3：滝の洞窟～ドグラ岩 sage 2005/08/06(土) 05:27:37 ID:d48MtN15

サンドサイドからドグラの拠点が有る砂漠地帯へ行く途中、滝の流れる大きな洞窟を抜けていく必要があります。実際に行ってみたら薬売りの行商人がいて、洞窟はモンスターがいるからと言って勝手についてきます。旅は道連れ世は情けといいつつ何だかうさんくさい雰囲気になるこの薬売り、やっぱり敵でした。洞窟の最深部で本性を表し、サンドサイドで仲間の口を封じるのにも使った吹き矢を手にして襲いかかってきます。

こいつを退けると洞窟の奥に捕らえられていたピグギーというオーク族を助けることができます。何でもドグラに協力するのを拒んだために捕らえられていたとか。怪力で岩をぶん投げるのが彼（彼女？）の得意技。さっそく洞窟内の通路を塞いでいた岩をどかして、砂漠地帯へと通じる道を切り開いてくれます。

洞窟を抜け砂漠を越え、ついに火の貝の勇者たちはドグラの居城にたどり着きました。城内各所に仕掛けられた砂のトラップを突破し、最上階でドグラと相まみえます。ドグラは同情の余地なき悪党、全力でたたき殺しましょう。

...火の貝の勇者らの活躍によりドグラの野望は潰え、大魔王ファットバジャーへのいけにえとして捕らえられていた娘達も無事に解放されました。もちろんオーラの玉も火の貝の勇者のもとに戻りました。一刻も早く世界に平和を取り戻すべく、勇者たちはドグラの居城に隠されていた地下通路を通して新しい大陸を目指します。

#### 287 大貝獣物語 その4：ラミール～シーマン神殿 sage 2005/08/06(土) 05:30:44 ID:d48MtN15

火の貝の勇者たちが新しい大陸で最初にたどり着いたのがラミールの町です。この町で聞き込みを行ったところ、南にあるシーマン神殿に珍しい貝が流れ着いたとの情報が手に入りました。もしかしたら旅立ちの時になくしてしまった3つの貝のどれかかもしれません。

シーマン神殿は半人半魚の姿をした海の民、シーマン族の聖地です。シーマン族の長老に会って話を聞いてみたところ、神殿に流れ着いた貝はやはり3つの貝のうちの一つ、水の貝であることがわかりました。水の貝を取り戻したと思ったのも束の間、巨大な魚が突如として神殿の中に乱入し、ひとしきり暴れ回った後長老と水の貝を飲み込んで地下水脈へと逃げ込みます。火の貝の勇者たちも巨大魚を追って地下水脈に踏み込み、魚をめて長老を助け出します。今度こそ、水の貝をしかと取り戻しました。

さて先ほどはさらっと流したラミールの町ですが、実はなかなか愉快なことになっています。まず、地震に見舞われて町全体に被害が及んでいます。この地震はラミールの東にあって大魔王ファットバジャーが封印されているドラドシティが震源地で、ファットバジャーの復活が近いのではないかと町では噂されています。この地震のためドラドシティとラミール地方を結んでいる橋が崩壊してしまい行くことができません。また、それ以外にも地震の影響で崖崩れや土砂崩れが発生し、北のマーナリー、南のサンドラといった周辺地域との交通がことごとく遮断されている状態です。さらに、ラミールの町はチクリの村に現れたのと同じロボットのようなものによる攻撃を受けており、地震とのダブルパンチで町はボロボロ。住民の一部はロボットに拉致されることこそまぬがれたものの、マユのようなもので梱包されたまま町の一角に安置されています。中の人には死んではいないようですが、マユのようなものはめっぽう固く町の人達には開封できないままです。

そんなところにやってきた勇者ご一行、あんた勇者なんだから何とかして下さいよと町の人達に泣きつかれるもやっぱり開封できません。こりゃどうすりゃよかんべ、

と知恵を出し合った結果、コスモストーンという希少な鉱物で作った剣なら何とかできそうだと、ということになりました。ところが、コスモストーンがあるという北の山　コスモストーンを加工できる鍛冶屋が住むマーナリーの町へとつながる唯一のルートでもあります　の入口は崖崩れで塞がってしまっているのだとか。

#### 288 大貝獣物語 その5：ガル山脈～コルドバ - sage 2005/08/06(土) 05:34:11 ID:d48MtN15

北の山に行ってみると、町の話どおり入口が大岩で塞がれていました。ここは滝の洞窟の時と同じように、ピグギーの怪力で岩をどかしてもらいが必要がありそうです。入口の大岩をどかして山道を進むと、崖崩れによって立ち往生していたとおぼしきおっさんがいました。彼はマーナリーの鍛冶屋で名はラバン。希少な鉱物であるコスモストーンを求めて山に入り手に入れたものの、崖崩れによって山の中から出られなくなってしまったのです。コスモストーンを手に入れた勇者一行はラバンを伴って山を下り、マーナリーにある彼の工房でコスモストーンをコスモソードという剣に加工してもらいました。

コスモソードを手にしてラミールに戻ってきた火の貝の勇者は、腰の入った回転斬りではさばさばとマユのようなものをぶった斬っていきます。中の人もろとも斬り捨ててしまいそうな勢いです。... 普段は言葉少なな彼ですが、やはり別世界での戦いの旅でストレスがたまっていたのでしょうか。

とまあそんなワケで、凄惨な二次被害を出しそうになりながらも町の人達を助けることができたのですが、その中にミルミーというおばあさんがいました。彼女はグレートノーム四姉妹と呼ばれる、大賢者グレートノームの4人の娘のひとりです。火の貝の勇者がファットバジャーを打ち破るために旅をしていることを知ると、南のサンドラに行ってみることを勧めます。しかし、ラミールからサンドラにつながる道は土砂崩れで遮断されています。正確に言うと、ラミール地方とサンドラ地方を隔てている川にかかる開閉式の橋を動かすための施設が土砂崩れで埋まってしまい、橋が開いたままになっていて川を渡ることができないのです。もぐらみたいに土を掘れたらいいのになあ、と思っていたら本当にもぐらが助けてくれました。ミルミーおばあさんのお友達のもぐらが土砂に埋まった施設に潜り、橋の開閉装置を動かして川を渡らせてくれます。

#### 289 大貝獣物語 その6：サンドラ～ゼニム屋敷 sage 2005/08/06(土) 05:37:40 ID:d48MtN15

かくて火の貝の勇者一行は川を越え、鬱蒼とした森を抜けてサンドラに到着しました。サンドラはラミール地方と同様にドラドシティと橋で結ばれていましたが、今は地震のため橋が崩れて行き来ができない状況です。サンドラに入ると、この町を取り仕切っている名士のゼニムの使いだという男が勇者一行の前にあらわれました。火の貝の勇者の噂を聞いたゼニムが是非とも会いたがっていると言い、勇者一行を屋敷に案内します。...ところがこの招待は罠でした。勇者たちはオーラの玉を奪われてしまった上、仕掛け部屋に閉じ込められて命までも失いそうになります。

この窮地を救ったのは、忍び術の使い手のキラーという男でした。彼はゼニムがオーラの玉と火の貝の勇者の命を狙っていることに気付いており、単身屋敷に潜入して勇者たちを助け出し、町の一角にあるスラムにかくまったのです。キラーの話によると、ゼニムは私兵を使って町の出入口を封鎖し、火の貝の勇者の行方を血眼になって捜し回っている模様。何としても勇者を抹殺するつもりようです。ここまでされて黙っているわけにはいきません。屋敷に乗り込んでゼニムを締め上げてやりたいところですが、さすがに正面突破は分が悪い。というわけでここは、スラムの地下にひそかに掘られていた秘密の通路からこっそりとゼニム屋敷に忍び入りましょう。

屋敷に入り込んだ火の貝の勇者たちは、ゼニムの魔法で動くモンスターや私兵の攻撃をかいくぐりゼニムを追い詰めます。ゼニムもしぶとく抵抗しますが、最終的には勇者たちの力が勝り、彼は屋根から落ちて絶命しました。諸行無常とか盛者必衰とか、そのへんの言葉をそのまま体現したかのようなゼニムの最期に仲間たちも複雑な心境のようで、ゼニムに同情するようなセリフもちらほらと口をついて出てきます。...ところでこの人、死体がいつまでたってもきれいなままなんですけどどうしてなんでしょう

う。

それはともかく、こと切れたゼニムの懐から蔵の鍵を失敬し、オーラの玉を取り戻すとともにたくさんのお宝、さらに船まで手に入れました。

...仲間たちがゼニムに同情するようなセリフを言ったのは、実はこの行為が後ろめたくて言ったんじゃないだろうかという気もしてきました。

#### 290 大貝獣物語 その7：モスウッド ~グレートノームの家 sage 2005/08/06(土) 05:40:35 ID:d48MtN15

船を手に入れて行動範囲が大きく広がった火の貝の勇者一行の次なる目的地は、大賢者グレートノームが住むという北の大陸です。この大陸は中央に険しい山脈が走っていて、北方には雪と氷の大地が広がり、南方は穏やかな気候で人も住んでいます。

グレートノームは物好きにも北の雪原地帯に住んでいるので、会いに行くには南から山脈を越えていく必要があります。しかしこの山脈は年がら年中嵐が吹き荒れてしかも落雷が絶えない難所、備えもなく挑んだのでは命がいくつあっても足りません。そこで、南の森サワサという場所に生えている電気を帯びた草を手に入れ、これを南の集落モスウッドの仕立て屋に持ち込んで雷を防ぐ服を作ってもらいました。その名も「耐電ガッパ」、道具袋に放り込んでおくだけで雨も風も雷もしのげる優れものにして、使うとなぜかなくなってしまう不思議アイテムであります。かくして火の貝の勇者一行は山脈を越え、大賢者グレートノームの家を目指すのでした。

火の貝の勇者がグレートノームの家をたずねあてると、彼は病気になって床に伏せていました。それでも話ができるくらいには元気なのでいろいろ聞いてみたところ、次のようなことがわかりました。

大魔王ファットバジャーが封印されているドラドシティーは現在周辺地域との交通が遮断されている状態にあるのですが、実はこの雪原地帯と秘密の地下道でつながっていてそこを通過して行くことができるそうです。しかし、その地下道の入口は雪崩で埋まってしまっています。グレートノーム曰く、ワシが病気でさえなければそんな雪なんぞチョチョイのチョイ、ということなんですけど動けないジジイはただのジジイです。ベッドにへばりついたままウダウダされても何にもならないので、いい薬があるというアイスマンの村を目指して勇者一行はさらに北へ向かうのでした。

#### 291 大貝獣物語 その8：アイスマンの村への洞窟 ~アイスマンの村 sage 2005/08/06(土) 05:43:26 ID:d48MtN15

山に囲まれたアイスマンの村に行くには山腹に開いた洞窟を抜けていく必要があるのですが、複雑な構造はしていません。大したことはないお使いイベントかと思っていいたら思わぬハプニングが発生します。

なんと、オーラの玉に突然ヒビが入ってしまったのです！

...思えばこのオーラの玉、物語の根幹をなす最重要アイテムでありながら、2度も敵に奪われるわ、火の貝の勇者が持っていた時は歩くたびに地面を引きずられるわで不憫にしてぞんざいなことこの上ない扱いを受けていたのですが、事ここに至ってついに損傷してしまったのです。

オーラの玉が失われてしまっただけで大魔王ファットバジャーの復活を止める手立てはありません。一刻も早くドラドシティーに急行しファットバジャーを打ち破るべく、勇者たちは不吉な予感をおぼえながらも再び歩き始めます。

...オーラの玉を引きずって。

急ぎ足で洞窟を抜け、アイスマンの村に着いてみると動くものが何一つありません。実はこの村の住民は中央の広場に立ち並ぶモアイのような頭だけの石像で、人の姿はしていませんがちゃんと言葉が通じますし、グレートノームのために薬を作ることにも快諾してくれます。ですが彼らは石像なので動くことができず、薬の材料となる5種類のアイテムを持ってくるよう要求します。特に入手困難なものはありません。

言われた通りのアイテムを持ってくると、彼らは今度はそのアイテムを口の中に入れるよう要求します。5種類全部を石像の口の中に入れたらさっそく薬作り開始。口の中のアイテムをぐっちゃぐっちゃと噛み砕き、舌でこねくり回したあげくにカーッペッと吐き出して完成です。

...あまりに豪快(?)な作業風景に、幾多の戦いをくぐり抜けてきた仲間たちも

ド肝を抜かれた様子、というか、完全に引いています。  
洞窟の中でオーラの玉にヒビが入ったときの緊迫感も、完膚なきまでに打ち砕かれてしまいました。  
こうして大賢者グレートノームの病気を治す薬が出来上がりましたが、仲間の誰も持ちたがらないため仕方なく火の貝の勇者が持つことになりました。  
...こんなところで仲間に見捨てられるとは、彼も夢にも思っていなかったでしょう。

## 292 大貝獣物語 その9：ふたたびグレートノームの家～ラミールの湖 sage 2005/08/06(土) 05:46:28 ID:d48MtN15

火の貝の勇者たちは急いでグレートノームの家に戻りました。ファットバジャーを一刻も早く打ち倒すため、決してエンガチョな薬をさっさと処分してしまいたかったからではありません。早速グレートノームに薬を渡し、グレートノームは薬をのんで元気になりました。知らぬが仏とはよく言ったものです。  
元気になったグレートノームから地下道の入口を塞ぐ雪を溶かすためのアイテム、ヒートボンバーを受け取ります。この物騒な品を使えば地下道を通ってドラドシティーに行けるようになるのですが、その前にやっておくことがあります。  
それは未だ行方の知れない大気の水と大地の水を見つげ出し、火の水・水の水とそろえて合体させ、四大元素の力の結晶「合体水」とすることです。この合体水がなければファットバジャーを打ち破ることは不可能です。  
そして、大気の水・大地の水の行方も、グレートノームの力により判明しました。その場所は、ラミールの町の近くの湖と、東の海に浮かぶ孤島です。

火の水の勇者たちはまずラミール近くの湖にやってきたのですが、やはり水は湖の中に沈んでしまっていて、漁師にでも頼まないと探し出すには無理がありそうです。ここで助けになってくれるのはマーナリーの漁師ゲンジ。自らシェルドラドの漁師と豪語する彼はちょっとおだてられるとすぐに湖の探索を引き受け、ものすごい速さで船を出しあっという間に大きな魚を釣り上げます。

...網で底を曳いてくれるんじゃないかと思っていた勇者一行でしたが、ゲンジが釣り上げた魚から都合よく大気の水が出てきました。それだけでなく、旅立ってすぐの嵐で離ればなれになっていたクピクピも一緒に魚の腹の中から出てきました。クピクピは嵐のあと大気の水を握りしめたままラミール地方に流れ着き、さまよっているうちに魚に飲み込まれてしまったそうです。  
こうして、クピクピが仲間に加わり大気の水を手に入れました。

## 293 大貝獣物語 その10：ポグー島～みたたびグレートノームの家 sage 2005/08/06(土) 05:49:05 ID:d48MtN15

4つの水のうち3つを再び手中にした火の水の勇者一行は、最後の1つ、大地の水を取り戻すべく船に乗って東の島に向かいました。この島はポグー島と呼ばれる火山島で、島全体が囚人を収監する流刑地になっていますが、どうも様子がおかしいです。  
いろいろ話を聞いて回ったところ、この島に収監されていたギルダールという囚人が反乱を起こし、警備を突破して島内の洞窟に立てこもったというのです。そして、老人である彼が反乱を起こし警備を蹴散らすほどの力を手に入れたのには、この島に流れ着いた大地の水が関わっているらしいことが分かりました。

そうすることで溶岩が顔を覗かせる火山洞窟に踏み込み、ギルダールと対面した火の水の勇者一行。やはりギルダールの力は大地の水によってもたらされたものでした。パワーアップしたギルダールは徹底抗戦の構えを見せ、勇者たちとの戦闘が始まります。一度倒されても大地の水の力で復活するギルダールを撃破し、大地の水を取り戻しました。

こうして火・水・大気・大地の水すべてがそろい、4つの水は大賢者グレートノームの力で合体して合体水となりました。これで大魔王ファットバジャーの魔力を抑えることができるようになったので、秘密の地下道を通ってドラドシティーに乗り込みましょう。

## 294 大貝獣物語 その11：秘密の地下道 sage 2005/08/06(土) 05:52:58 ID:d48MtN15

ヒートボンバーで雪を吹っ飛ばし、地下道を進んでいくとおばあさんがモンスターに襲われています。モンスターを倒して助けてあげたところ、彼女はグレートノーム四姉妹のひとり、コリコットと名乗りました。コリコットおばあさんは病に倒れたグレートノームに代わってドラドシティーの様子を見に行っていたのですが、地下道の

入口は雪崩で埋まるしモンスターに熱烈に追いかけて回されるしでさんざっぱらな目に遭っていたとぼします。と、ここで彼女は火の貝の勇者が引きずっているヒビ割れたオーラの玉に気が付きます。そしてオーラの玉にヒビが入るなんてあり得ないと主張し、いや実際にヒビ割れてるじゃないかと勇者も反論します。そんな言い争いをしていると、急にオーラの玉が光を放ってふるえだし、景気のいい音を立てて爆発してしまいました...

...オーラの玉が弾け飛んでしまっただけで現れたのは大魔王ファットバジャー.....ではなく、1体のロボットでした。ロボットであるからには何かの任務があつて作られたのでしょうか、それを感じさせるような動作も見せず、それどころかアヒルのひな鳥が生まれて初めて見た動くものを親と思うがごとくに火の貝の勇者になつく始末です。ところがロボットを見てコリコットの顔色が一変、さっさと破壊してしまえと強い口調で言い募ります。何でもこのロボットはチクリーやラミールなど世界の各地に現れて町を攻撃し人々を拉致しているロボットと同型なんだそうです。これを聞いた火の貝の勇者、こんなになつてくんだから連れていってもいいじゃん、と一歩も引きません。このノリはそのまんま犬を拾ってきた子供vs捨ててきなさいと怒る親なんです、案外彼は地球で暮らしていた時にも同じ経験をしているのかもしれませんが。

結局コリコットが折れて、晴れてロボットは火の貝の勇者の仲間になりました。ただ、普通に連れ回していたんじゃ町の人に何を言われるか分からん、ということで適当に変装をさせ、勇者たちの旅に同行させていくこととなります。

#### 295 [大貝獣物語 その12 : ドラドシティ](#) sage 2005/08/06(土) 05:56:16 ID:d48MtN15

地下道を抜けてやってきたドラドシティは地震のためあちこちが崩れていて、町や城のいたるところにモンスターが徘徊しています。大魔王ファットバジャーは城の中心部に結界によって封じられており、結界を破るにはかつての勇者が大魔王との戦いに使った伝説の武器「愛の剣」が必要です。城の一室で愛の剣を手に入れた火の貝の勇者たちは愛の剣と合体貝、そして世界に平和を取り戻すという強い意志をもって大魔王との戦いに臨みます。

結界が破られ、地の底から姿を現した大魔王ファットバジャーは圧倒的な巨体と威圧感をもって火の貝の勇者たちに襲いかかります。全力で立ち向かう火の貝の勇者たち。闇の力を吸収してその力を増す大魔王ファットバジャー、しかし、ついに伝説の剣の力と勇者たちの勇気が勝り、ファットバジャーは倒れました。長い戦いの旅が終わったことを知り安堵する火の貝の勇者と仲間たち。彼らを祝福するように空から白い光が降り注ぎ、その光に包まれてファットバジャーが昇天していきます。そして勇者たちのもとに天からの声が届きました。

我が名はギャブ・ファー。宇宙の侵略王！

そう、実はシェルドラドは外宇宙からの侵略者に狙われていて、ファットバジャーが光に包まれて天に昇っていったのはUFOのトラクタービームだったのです！

「な、なんだってー！！」と驚くひまもなくギャブ・ファーのUFOはファットバジャーを収容して飛び去り、地上全体に砲撃を仕掛けました。砲撃の凄まじい威力により大地は裂け山は砕け、幾多の町や村が海の藻屑と消えていきました...

#### 296 [大貝獣物語 その13 : ドラドシティ~潜水艦](#) sage 2005/08/06(土) 05:59:41 ID:d48MtN15

大賢者グレートノームと四姉妹がドラドシティにやって来ました。サンドサイドの勇者の館にいた仲間たちも、新たなる侵略者あらわる、の知らせを聞きドラドシティに集結しています。

ドラドシティは少しずつ人が集まってきて復興しつつあり、サンドラ・ラミールにつながる橋も再建されたのですが、ギャブ・ファーの存在は一般の人々には伏せられています。ファットバジャーの脅威が去った今、人々をいたずらに絶望させたくないグレートノームが判断したのです。

とはいえ、外宇宙からの侵略者という正体不明にして前代未聞の脅威がシェルドラドに迫っていることは事実。せめてその姿の片鱗だけでもなんとかつかみたいものだと  
いうことで、火の貝の勇者が連れているロボットに白羽の矢が立ちました。世界各地を  
襲い人々を拉致した同型のロボットはギャブ・ファアの尖兵であると思われたからです。

天才科学者ディープ博士の協力を得てロボットの中身を解析してみたところ、ご丁寧にプロモーションビデオが収録されていました。再生してみると、基地やらロボット軍団をバックにギャブ・ファアの演説が流れます。どうやら産めよ増やせよ地に満てよの精神で星々を蹂躪、侵略している様子、なんてはた迷惑な奴なんでしょう。

この征服キ　ガイに対抗する策としてグレートノームが出した答えは、シェルドラドの守護者であり、火・水・大気・大地の四大元素の力を司る「貝竜」の力を借りることでした。絶海の孤島「ガーディアン島」に4頭の貝竜のリーダー格、レッドドラゴンがいることがわかっています。波の荒い外洋を通してこのガーディアン島に行くにはディープ博士の作った潜水艦が必要。ところが、潜水艦はギャブ・ファア配下の魔物に奪われて行方知れずになっているのでした...！

餅は餅屋という言葉があります。奪われた潜水艦のことを海に詳しい人に聞いてみよう、ということで海の民シーマン族の神殿を再び訪れたところ耳寄りな情報がありました。なんでも、シーマン神殿の近くの入り江で潜水艦らしきものが目撃されていて、しかも三方を山に囲まれたその入り江に出られる地下通路の入り口がなぜかシーマン神殿に開通しているというのです。

地下通路を通り入り江に出ると、おあつらえむきのタイミングで潜水艦が登場しました。さっそく見張りをぶちのめして殴り込み、ナメック星人そっくりの魔物の親玉と対決します。こいつは一度倒してもよみがえるのですが、そういう復活タイプのボスは食傷気味の今日このごろ、さくっとやっつけましょう。

#### [297 大貝獣物語 その14：ガーディアン島・風の塔・溶岩洞窟と水の洞窟](#) sage 2005/08/06(土) 06:04:44 ID:d48MtN15

潜水艦を奪還した火の貝の勇者一行は一路ガーディアン島へ。この島はレッドドラゴンの眠る遺跡を守る使命を帯びたガーディアン族が住んでいますが、たてつづけに人間がやってきたというので皆驚いた様子です。勇者たちのこともそうなのですが、実は先客がきていたのです。それはクシューラという少女で、火の貝の勇者と顔を合わせたこともたびたびあります。彼女はファットバジャーへのいけにえとして奴隷商人のドグラに捕らえられていて、ドグラから解放された後も身寄りがないので生きるため奴隷に逆戻り、この度は宇宙から侵略者がやってきたことに絶望して入水したんだけど結局死にきれずガーディアン島まで流れ着いてしまった、と恐るべき不幸っぷりです。

火の貝の勇者たちはクシューラをお見舞いしてから遺跡に入り、その最深部でレッドドラゴンと対面します。話を聞いたレッドドラゴンは勇者たちに試練を与え、これを突破したら力を貸すと約束します。その試練とは、レッドドラゴン以外の3頭の貝竜に会い、戦って力を認めてもらうというものです。

風の吹き荒れる塔に居を構え大気の力を司る、ウインドドラゴン  
溶岩の流れる洞窟にひそみ大地の力を司る、ランドドラゴン  
海底の神殿に鎮座し水の力を司る、アクアドラゴン

火の貝の勇者たちはこの3頭の貝竜と戦い、力を認められて各貝竜の協力を取り付けました。ガーディアン島の遺跡で再びレッドドラゴンと対面し、最後の試練、レッドドラゴンとの戦いに挑みます。火の貝の勇者たちは見事この試練を乗り越え、四貝竜の力がすべてそろいました。

#### [298 大貝獣物語 その15：カハ村～氷河洞窟](#) sage 2005/08/06(土) 06:08:02 ID:d48MtN15

遺跡の外に出ると勇者たちの前にクシューラが現れ、衝撃の事実を口にします。彼女は人間の少女クシューラなどではなく、侵略者ギャブ・ファアの実の娘、グジュウで

あること。人間のふりをして火の貝の勇者の行く先々にあられ動向を監視し、さらにドグラーやゼニムを操ってオーラの玉や勇者の命を狙っていたこと。そしてグジューは本来の姿を表すと火の貝の勇者をとらえ、UFOのような飛行体に乗って東のほうへ飛び去ってしまいました。

仲間たちはグジューの飛行体を追って東に急行しますが、途中でばかでかい植物の根がびっしりと地面を埋めつくしている場所があって、そこで足止めをくらってしまいました。勇者を連れ去ったグジューの基地はこの向こう側にありそうなのですが、空でも飛ぶか植物の根をなんとかしないことには先へ進めません。

とりあえず仲間たちは根っこ地帯の手前にあるカメレオン村を訪れました。その名の通り住民はみんなカメレオン。いたって友好的な彼らですが、カエルが一番のごちそうという食習慣のため宿屋の食事に不安が残ります。物知りの長老に会って根っこの話をすると、その植物ははるか古代のものだと言います。そして当時はその植物を食べる巨大昆虫も存在していて、今でも北方の氷河地帯ではその卵が見つかるかもしれないと言うのでした。

それを聞いた仲間たちは北方の氷河洞窟を探索し、巨大昆虫の卵を見つけて発掘しました。この巨大卵をカメレオン村に持ち込むと、長老はじめ村の一同が巨大卵を村の奥の祭壇にそなえて一心に祈りを捧げました。すると巨大卵から巨大幼虫が孵りました。エサの気配をかぎつけた巨大幼虫は村を破壊しながら巨大植物に突撃し、あっという間に根っこを食べつくしてしまいました。満腹した巨大幼虫は巨大サナギへと姿を変えます。こうして、グジューの基地に襲撃をかける用意が整いました。

#### 299 大貝獣物語 その16：バイオベース sage 2005/08/06(土) 06:10:53 ID:d48MtN15

グジューの基地は有機体で構成されたバイオベースです。ここは新桃太郎伝説の新しい村と並ぶハドソンRPGの双壁。壁や床には気色悪い細胞や触手がうじゃうじゃとごめき、改造とか合成で生まれたグロイバイオモンスターがひしめき合っています。そしてここにはシェルドラド各地から拉致されてきた人々が捕らわれていて、緑色のマユのようなものにくっつけられて生命力を吸い取られています。彼らに話しかけるとかえってくるあまりに衝撃的な言葉は、いつのまにかレゲー板貝獣物語スレッドのテンプレになってしまいました。奥に進むと生命力を吸い尽くされてマユのようなものと完全に同化してしまった人たちを発見したり、血まみれの手術室に迷い込んだりと陰惨さ具合はさらに加速。仲間たちの憤りとプレイヤーの吐き気も最高潮に達します。

基地の中核までやって来た仲間たちが目にしたのは、カプセルの中に浮かぶ火の貝の勇者とその前に立つグジューでした。グジューはさらってきた火の貝の勇者を自軍に引き入れようと試みましたが、いくら痛めつけても勇者が首を縦に振らないのに業を煮やし薬漬け作戦を実行していました。火の貝の勇者を取り戻すべく、仲間たちとグジューの決戦の火蓋が切って落とされます。

仲間たちがグジューを破り、火の貝の勇者は無事に助け出されました。グジューは飛行体に乗って逃走し、バイオベースは捕らわれていた人々もろとも崩壊します。しかし悲しんでいる暇はありません。一刻も早くギャブ・ファーを止めなければ、同じ悲劇が繰り返されることは明らかです。

決意を新たにする一行の前に、巨大植物の根を食べつくして巨大サナギになっていた巨大昆虫が羽化し、巨大成虫のクロム蝶となって飛んできました。火の貝の勇者たちは大空を自由に駆けるクロム蝶の背に乗り貝獣島を目指すのでした。

#### 300 大貝獣物語 その17：貝獣島～失われた大陸 sage 2005/08/06(土) 06:14:27 ID:d48MtN15

貝獣島に降り立った火の貝の勇者は貝獣仙人と再会します。勇者たちから事情を聞いた貝獣仙人は、シェルドラドの守護者にして四貝竜の上に立つ「大貝竜」の力を借りることを提案します。貝獣仙人らの召喚の儀式に呼ばれた大貝竜は火の貝の勇者への協力を承諾し、さらに失われた大陸を目指しオーラの玉を手に入れる、と助言します。「失われた大陸」というのはシェルドラドの地底に広がる大陸のことを指しており、そこにある「永遠の谷」という場所でオーラの玉を手に入れられるそうです。

そして、大貝竜の力で貝獣島から地底世界へ続く穴が開きました。

勇者一行は貝獣島に開いた地底へと続く穴を下り、さらに男のロマン・ドリル戦車をも使って地底世界へと突き進みます。最初に火の貝の勇者たちがたどり着いたのは、「失われた神殿」というだだっ広い建造物の中でした。失われた神殿は失われた大陸よりも上層に位置し、ここから失われた大陸に行くのには鍵となるアイテム、メスタファイアが必要らしいです。勇者一行は神殿を奔走してメスタファイアを入手し、失われた大陸への道を開きました。

火の貝の勇者たちは失われた大陸の中央部の祭壇にやって来ました。この祭壇は永遠の谷の入口でもあるのですが、今は封印されていて中に入ることはできません。この封印を解くには、失われた大陸のどこかにある神殿にあるという呪文が必要です。勇者たちはまたしてもだだっ広い大陸を奔走し、谷の入口を開く呪文を入手しました。

再び永遠の谷の入口にやってきた火の貝の勇者たち。尾行してきていたギャブ・ファアの手下を蹴散らし、封印を解いて中に足を踏み入れます。谷の中で勇者たちを待ち受けていたのは、オーラドラゴンと名乗る巨竜でした。オーラドラゴンは試練を乗り越えることでオーラ力の結晶であるオーラの玉が得られると言い、勇者たちの力を試すべく戦いを挑んできます。戦いの末オーラドラゴンは勇者たちの力を認め、自らの体をオーラの玉に変化させます。こうして火の貝の勇者たちはオーラの玉を手に入れました。ちなみに今回のオーラの玉は小ぶりなので引きずって歩く必要もありません。

### 301 [大貝獣物語 その18:ラストダンジョン](#) sage 2005/08/06(土) 06:16:34 ID:d48MtN15

失われた大陸から帰還し、あとはギャブ・ファアの本拠地に攻め込むだけです。ところがその本拠地の場所がわかりません。陸を探しても海を探しても見つからなかったのですが、まだ探索していない場所がひとつありました。それは海の底のさらに底の深海底で、すさまじい水圧がかかるために潜水艦でも行くことができなかった場所です。そこで水圧に耐えられるよう潜水艦を改造し、ドラドシティー近くの海溝を下って深海底を探してみたところ巨大な建造物が発見されました。これこそが、ギャブ・ファアの宇宙船兼要塞です。

こうして火の貝の勇者たちの最後の戦いの舞台が幕を開けました。強力なモンスターとの戦いを繰り広げ、強力な武具の入った宝箱をあさり、強力に配置されたトラップをくぐりぬけ、強力にグロイ光景に吐き気をもよおしつつ、勇者たちは要塞の奥へ奥へと進んでいきます。

途中、砲撃戦仕様に改造されたファットバジャー、大幅にパワーアップしたグジューとの再度の対決が待ち受けています。勇者たちはこれらの激戦を制し、ギャブ・ファアのもとへと急ぐのでした。

要塞の最深部で遭遇したギャブ・ファアは醜怪な巨体をもつ化け物でした。そして、その前にはグジューがこちらに背を向けて立っていて、何かを必死に訴えているようです。実はグジューは2度にわたる戦いの中で火の貝の勇者の勇気や仲間たちの絆に触れ、力で相手をねじ伏せ侵略していく自分たちの行いが不毛であると思うようになり、父ギャブ・ファアに侵略行為をやめるよう説得していたのです。しかしギャブ・ファアは耳を貸さないどころか、邪魔だとばかりにグジューを踏みつづし火の貝の勇者たちに襲いかかってきました。

ギャブ・ファアと火の貝の勇者たちとの戦いは熾烈を極めました。禍々しいまでに強大な力をもって勇者たちに迫り来るギャブ・ファア。火の貝の勇者と仲間たちは、傷つきながらも立ち上がり、果敢にギャブ・ファアに挑みかかっていきます。死力を尽くした戦いの中でギャブ・ファアは真の姿を表し、その攻撃はさらに激しさを増します。火の貝の勇者と仲間たちもまた、世界の命運、シールドラドに生きるすべての生命の未来をかけ、全身全霊で立ち向かいます。...そして長きにわたる死闘の末、ついにギャブ・ファアは倒れました。宇宙の侵略王、ギャブ・ファアの野望はここに打ち砕かれたのです。

[302 大貝獣物語 その19：インゲ](#) sage 2005/08/06(土) 06:18:50 ID:d48MtN15

しかし、戦いに敗れ自らの滅びをさとしたギャブ・ファーは、最後の力を振り絞って要塞の自爆装置を作動させます。たとえ火の貝の勇者たちが脱出できたとしても、シェルドラドのど真ん中で爆発されたら甚大な被害が出ることはまぬかれません。それこそ、シェルドラドがギャブ・ファーの道連れに滅んでしまいかねないのです。この危機を回避する方法はただひとつ。それは、宇宙船を兼ねるこの要塞が爆発する前に誰かが操縦してシェルドラドを離れ、宇宙空間で爆発させることです。しかし、この方法では操縦者の命はまず助かりません。今になって誰かが命を捨てなければならない事態が発生したことに火の貝の勇者が躊躇していると、ロボットがその役を買って出ました。

驚く一同を前にしてロボットが語り始めます。勇者たちに秘密の地下道で出会って以来、本来はギャブ・ファーの尖兵である自分に分け隔てなく接してくれ、仲間としてずっと一緒に旅をすることができたことを本当にうれしく思っている。そしてロボットの自分は人間と接するうちに自分にはない人間の心にあこがれるようになり、それを理解しようとしてきたが、今、大切な人のために自分を犠牲にできる人間の心がわかった気がする...と。そしてロボットは要塞の中に捕らわれている人たちを助け出して脱出するよう言い残すと、勇者たちの制止を振り切って操縦室へ向かっていきました。

火の貝の勇者たちは要塞内の生存者を救出し、潜水艦で脱出しました。その後ろで、ギャブ・ファーの要塞は海底を離れ宇宙へと飛び立っていきます。そしてついに要塞は爆発し、ロボットもまた宇宙に散りました。

火の貝の勇者たちはドラドシティーの海岸に上陸しました。彼らが見上げている空を大きな流星が横切っていきます。勇者たちは共に旅をし、助け合った仲間を失った悲しみに包まれ、いつまでも空を見上げています。そしてまた、シェルドラドを救うという使命を果たした火の貝の勇者にも、この世界を去らねばならない時がきていました。別れを惜しむ仲間たちの前で火の貝の勇者の体は天からの光に包まれ、彼は元いた世界へと還っていきます。

こうして、シェルドラドにまたひとつ新たな物語が刻まれることになりました。世界を救った勇者たちの伝承はいつまでも忘れられず、シェルドラドに語り継がれてゆくことでしょう.....

[303 大貝獣物語 補足](#) sage 2005/08/06(土) 06:22:14 ID:d48MtN15

実際には火の貝の勇者がシェルドラドから消えてしまった後、最終決戦に同行していた仲間たちのその後が描かれるのですが、コレをきれいさっぱり忘れてしまったので書くことができません。orz

あと、仲間の個別EDはキャラごとに用意されたイベントをクリアしているかどうかで変化するようです。基本的にこのイベントはストーリーの大筋とは無関係です。このキャラごとのイベントものちのち投下する予定です。

[315 名無しさん@お腹いっぱい](#), sage 2005/08/07(日) 03:20:02 ID:8o4P3CJB

貝獣の人乙です

ただポヨンが嵐で流されてから再登場してないのですがどうなったのですか？

[317 名無しさん@お腹いっぱい](#), sage 2005/08/07(日) 05:37:22 ID:zzjqTie3

>>315

自分は貝獣の人ではありませんが

ストーリーの途中で主人公が町を作る（復興させる？）というイベントがあるのですが、町をある程度成長させると、ポヨンがその町に出現し、再び仲間にする事ができたと思います。うる覚えなので間違っていたらすいません。

[>>315](#)

ポヨンの件は仲間のイベント紹介で書こうと思ってたのですが、  
[>>317](#)さんの言う通り町作りのイベントで特定の施設を作ると再登場します。  
大抵の人は気付かないままゲームを終えるのですが...

あと、[>>305](#)さん

ED特攻がガッソいっちゃって下さい